

4月の園生活のために
 ご入園 ご進級 おめでとうございます

「初めて」の事柄に心も揺らぐことでしょう。つい半年前迄お腹の中にいた子どもが、数か月後には集団生活の仲間入りをしている場所が0歳クラスです。これまで保護者と離れることの少なかった子ほど、周囲の声や音、匂いの違いを感じとり、園の環境に慣れるのに時間を要することがあります。

5ヶ月で入園したSちゃんは、当初から泣き始めるとなかなか止まらない子でした。家庭母乳だったこともあり、温度に敏感で吸い口の違和感から哺乳力も弱くお腹が満たされない状況が続きました。又入眠時は持参した毛布の感触が無いと落ち着かず、Sちゃんの心は不安で一杯だったと思います。言葉に出せない思いを泣くことで周りに伝えてくれている姿に、保育者は生理的欲求を満たすことやその時々心の動きを受容し、「安心する居場所」となるよう関わっていきました。

初めての園生活に送り出した保護者も又、様々な思いを抱えています。Aさんは、一年間の育児休暇を取り止め、出生9か月で入園を決めました。日中は子どもと二人きりの事が多く、次第に社会から孤立してしまう様な疎外感に陥り、「子どもが泣きやまないといらいらしてしまう。」そんな自分に「子育てへの自信が持てなくなっている。」と心情を明かしてくれました。子どもへの向き合い方は普遍的で手探りの日々が続きます。保育者が保護者の在りのままの感情に添いながら、思いや望みを共に考え信頼関係を築いていきました。Aさんは悩みや気づきを保育者と共有することで気持ちに整理がつき、職場復帰後は社会との繋がりや仕事の充実感から「子どもに対して余裕を持って接することができる」と知らせてくれました。保護者には、丁寧で柔軟な対話が大切であると改めて感じた瞬間でした。又、進級児にとっても環境の変化が大きく感じられる4月は、保育者の心構えとゆるぎない愛情で子どもたちの心持ちは安定します。そのことを胸に留めそれぞれの「今」の姿を認めながら願いを拾い手助けを必要とする時に適切な対応を心がけています。

子どもを取り巻く私たち大人は、目に見えないことを「信じて」見守り、「待つ」。すぐには結果のでないことも多いのが「保育」「子育て」の営みです。いつも、人に寄り添い続けることは難しいですが、育ちへの種蒔きの労を惜しまず進んでいきましょう。

どんな時でも「大丈夫」と神さまに受けとめられていることを覚え、今年度も園と保護者の皆様方と協力し合い、子どもたちを見守りながら過ごして参りたいと思います。

なでしこ子ども園園長 藤巻真由美
 第2なでしこ子ども園園長 鈴木 真理
 クレイシュ保育園園長 小清水幸子

4月聖句

新しい歌を主に向かって歌え。

詩編96篇節

4月主題

「はじめまして」0歳

「よろしくね」1・2歳

～子どもたちの姿～

暖かい陽気と共に、今年度が始まりました。子どもたちは、クラスが変わりワクワクした表情を浮かべ「お姉さんになったよ」「空組になったの」と身支度をしています。年下の友だちに対して「こっちだよ」と呼んだり、靴を履かせてあげようしたりと、行動にも変化が見られ頼もしく思っています。異年齢での活動も多く、互いに刺激し合い、遊びや生活の幅を広げています。子どもたちのそんな姿が見られた時には、思いやりの心や感謝の気持ちを伝えながら、豊かな心を育てていきたいと思えます。

今年度も保育へのご理解、ご協力をよろしく願いいたします。



【4月の讚美歌】

つくしのように

【4月のうた】

こどりのうた
 おはながわらった

	月	火	水	木	金	土	日
4月の予定表	1	2	3	4	5	6	7
	8 入園式	9	10 身体測定	11	12	13	14
	15	16	17	18	19 避難訓練	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29 昭和の日	30 クレイシュ通信					
	◎爪が伸びていると友だちやを引っ掻いてしまったり、折れてしまったり怪我の原因となりますので、確認をよろしくお願い致します。						